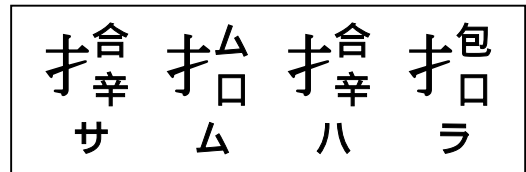




# サムハラ神社 奥の宮



## 概要

田中富三郎氏が昭和 10 年（1935 年）に旧西加茂村にて古い小さな祠の荒廃を嘆き再興したのが起源。翌年、県からの要請で自主撤去。戦後、祠は再建され、神社は大阪中之島の豊国神社隣接地に自費で設立。昭和 36 年（1961 年）に現在の大阪市立売堀に移築遷宮された。詳細は津山瓦版を参照

(<http://www.e-tsuyama.com/report/2015/09/post-974.html>)

## 創建者

田中富三郎（明治元～昭和 42 年）。加茂町百々出身。万年筆業界の先駆者。加茂町で児童教育に貢献した。サムハラ大神を篤く信仰していたため日清・日露戦争で数々の危難を免れる。サムハラ大神の霊徳を世の人々に分かつため、私財でサムハラ神社を建立。

## 祭神

天御中主大神、高皇産霊大神、神皇産霊大神（造化の三神）。サムハラとはこの三神の総称。家運隆盛、無傷無病、延命長寿の神徳がある。サムハラの四文字が身を守るとされる。

## 所在地

津山市加茂町中原 900-3（金刀比羅神社拝殿から左手に小道を進むと祠がある。）

## 関連施設

金刀比羅神社